

# 学生のパソコン利用に関する調査報告

石 丸 敬 二

## 1. はじめに

本学経済学部生が主として利用するパソコン教室として、2003年4月より現在の情報講義室（01205教室）が開かれた。学生が卒業した後、実際にビジネスシーンで利用する頻度の高いと思われる型に慣れさせておくという目的のもと、それまでのデスクトップ型パソコン（以下PC）から、ノート型パソコンへと形態をシフトさせた。

教室の運用開始から2年経過した時点で、学生の意識との間にズレはないのかを把握するため、アンケートによる実態調査を行った。本稿はその結果報告である。

## 2. クライアントPCの仕様

学生機および教員機として導入されたクライアントPCは、2003年当時としては標準的な性能を持つものである。以下仕様。

用 途	学 生 機	教 員 機
モデル	FMV-716NU3/B	FMV-7170NU3
型	ノート型	ノート型
CPU	Intel® Celeron® 1.6GHz	Intel® Pentium4® 1.7GHz
表示装置	14.1インチTFT液晶	14.1インチTFT液晶
メモリ	256MB	256MB
HDD	20GB	30GB
他装置	内蔵CD-R/RW, FDD	内蔵CD-R/RW, DVD-ROM, FDD

OS	Microsoft® Windows®XP Professional	Microsoft® Windows®XP Professional
主なアプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Microsoft® Office®XP Professional</li> <li>・ Adobe® Acrobat®</li> <li>・ Jasc® PaintShopPro®7J</li> <li>・ IBM® HomePageBuilder®Ver8.0</li> <li>・ Norton® AntiVirus®</li> <li>・ SKYMENU® ProLT</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Microsoft® Office®XP Professional</li> <li>・ Adobe® Acrobat®</li> <li>・ Jasc® PaintShopPro®7J</li> <li>・ IBM® HomePageBuilder®Ver8.0</li> <li>・ Norton® AntiVirus®</li> <li>・ SKYMENU® ProLT</li> </ul>

表 1 クライアントPCの仕様

### 3. アンケートについて

2004年度後期に情報講義室を利用する授業を受講した学部生を対象にアンケートを行った。具体的には下表のとおり。アンケートの質問項目については次節を参照されたい。

対象授業科目							
情報処理Ⅱ，ビジネス処理Ⅱ，情報表現実習Ⅱ，ウェブデザイン実習Ⅱ							
1 年次生（144名）		2 年次生（126名）		3 年次生（50名）		4 年次生（13名）	
男	女	男	女	男	女	男	女
125名	19名	113名	13名	46名	4名	13名	0名

表 2 アンケート対象学生

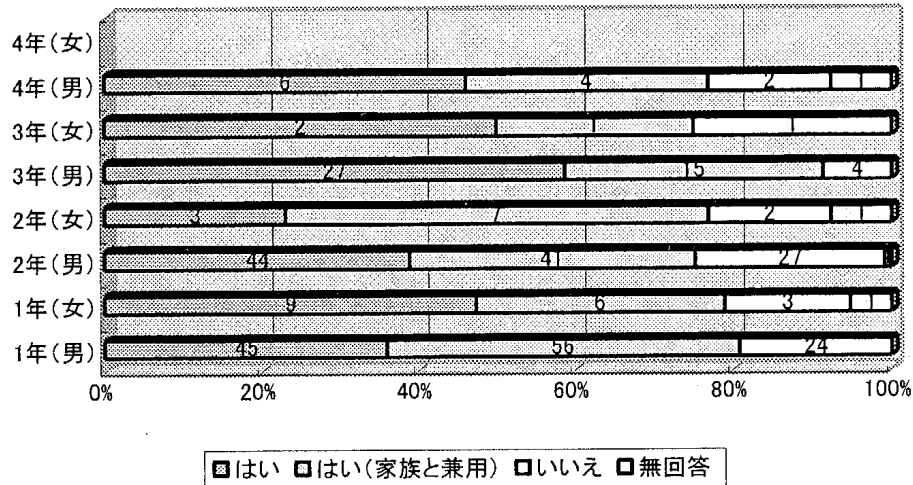
### 4. 調査結果

ここで、アンケートの質問項目およびその結果について述べる。

Q1 自宅（または下宿先）でパソコンを所有していますか？

はい（自分専用）      はい（家族と兼用）      いいえ  
 （「いいえ」と答えた人はQ10へ）

図1 Q1 調査結果

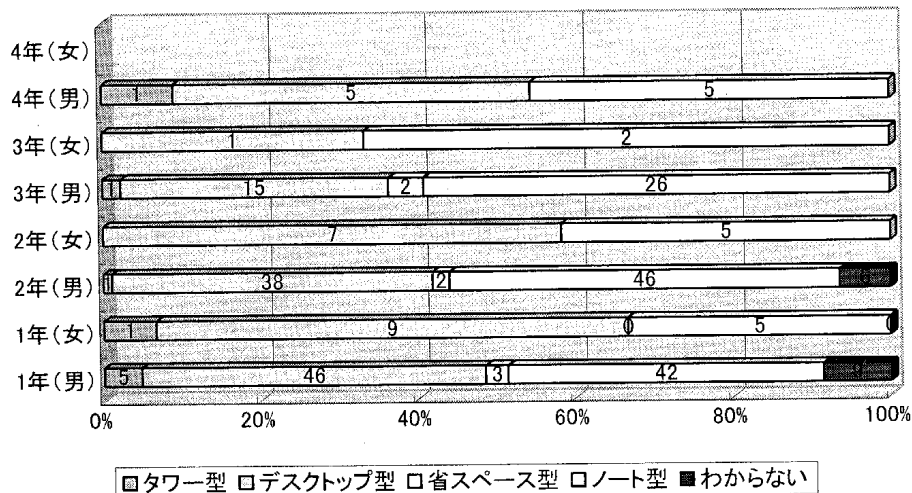


学年・性別を問わず、高い割合で自宅にPCを所有していることがわかる。

Q2 所有しているパソコンのタイプは

タワー型    デスクトップ型    省スペース型    ノート型    わからない

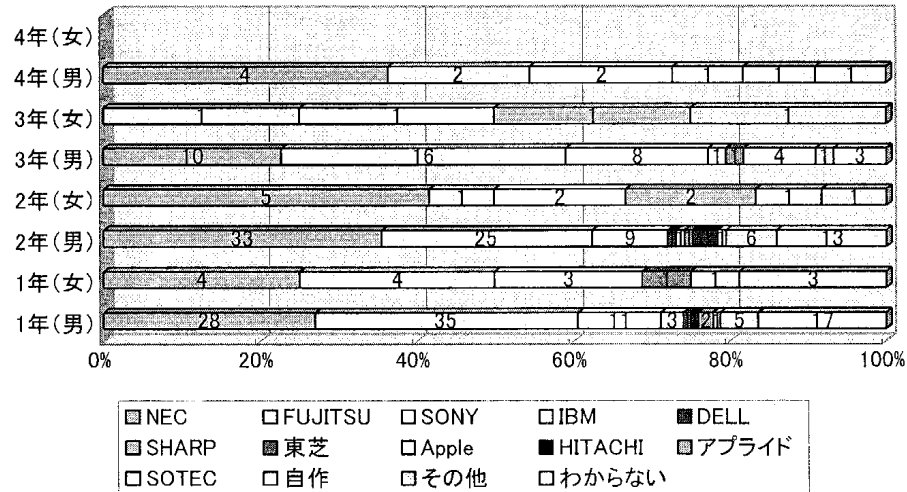
図2 Q2 調査結果



大半がデスクトップ型とノート型に分かれている。家族利用または個人利用など用途の違いによるものであろう。

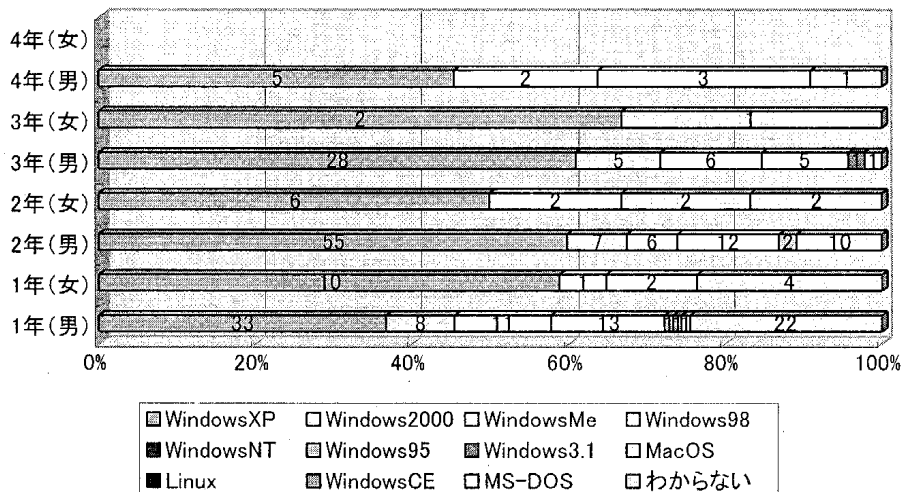
Q3 所有しているパソコンのメーカーは  
NEC FUJITSU SONY IBM DELL  
その他 ( ) 自作 わからない

図3 Q3 調査結果



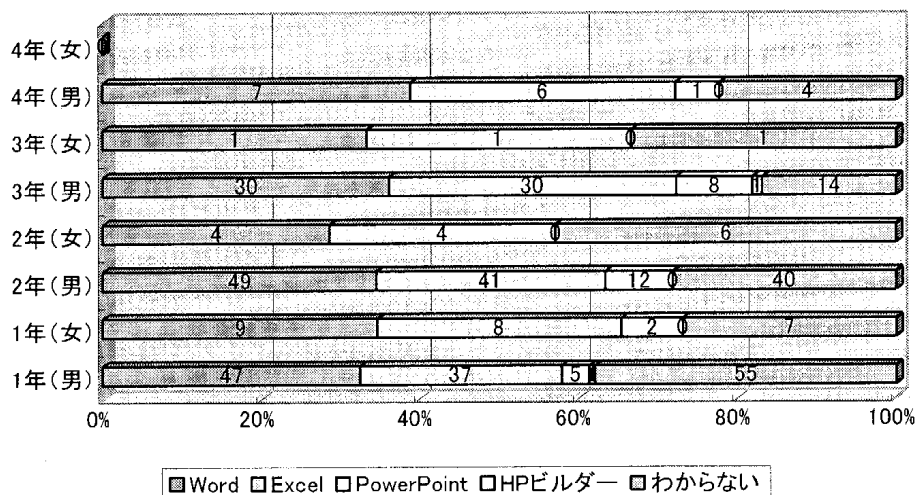
Q4 所有しているパソコンのOSは  
WindowsXP Windows2000  
WindowsMe Windows98 WindowsNT Windows95 Windows3.1  
MacOS Linux その他 ( ) わからない

図4 Q4 調査結果



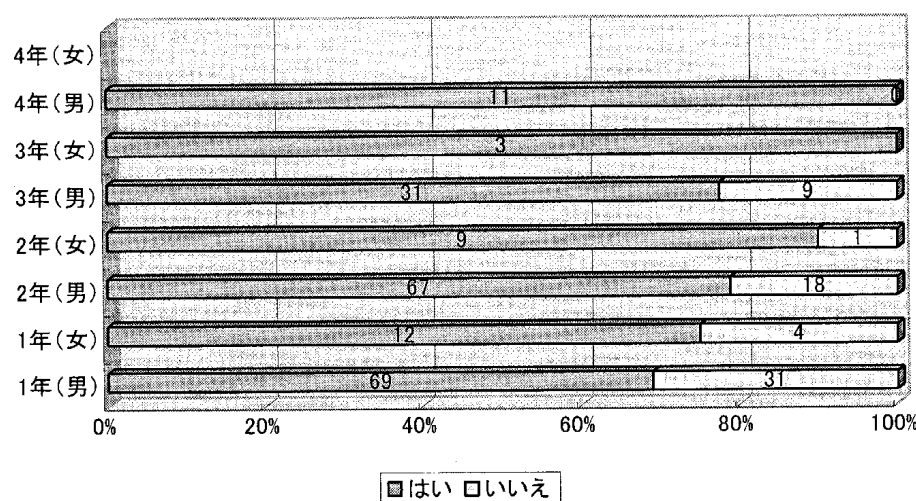
Q5 以下のうち、所有しているパソコンに入っているアプリケーションは  
 Microsoft  
 Word2003 Word2002 Word2000 Word98 Word97 Word95  
 Excel2003 Excel2002 Excel2000 Excel97 Excel95  
 PowerPoint2003 PowerPoint2002 PowerPoint2000  
 IBM  
 HomePageBuilderVer.8 HomePageBuilderVer.7  
 わからない

図5 Q5 調査結果



Q6 所有しているパソコンはインターネットにつながっていますか？  
 はい いいえ  
 (「いいえ」と答えた人はQ8へ)

図6 Q6 調査結果

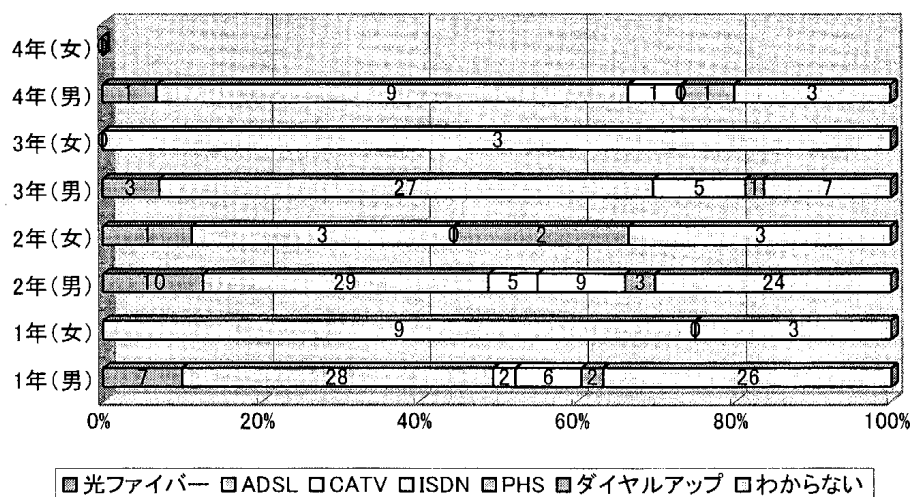


平均して7～8割もの接続率である。既存の電話回線で高速利用できるDSL技術の恩恵であるといえよう。

Q7 インターネットの接続回線はどのタイプですか？

- a) 光ファイバー ( Mbps)    b) ADSL ( Mbps)  
 c) CATV ( Mbps)    d) ISDN (64Kbps 128Kbps)  
 e) PHS    f) ダイヤルアップ  
 わからない

図7 Q7 調査結果

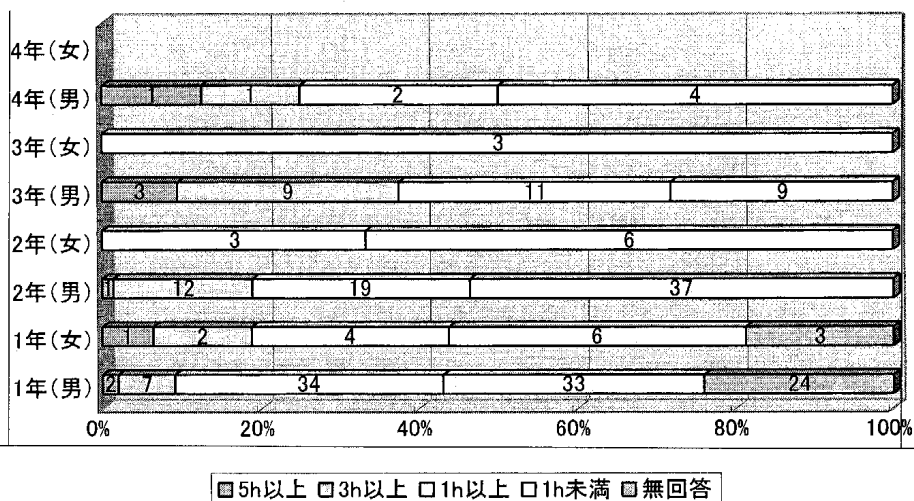


Q8A 所有しているパソコンはどのくらい使いますか？

<1日あたり>

5時間以上    3時間以上    1時間以上    1時間未満

図8A Q8 調査結果 (1日あたり)



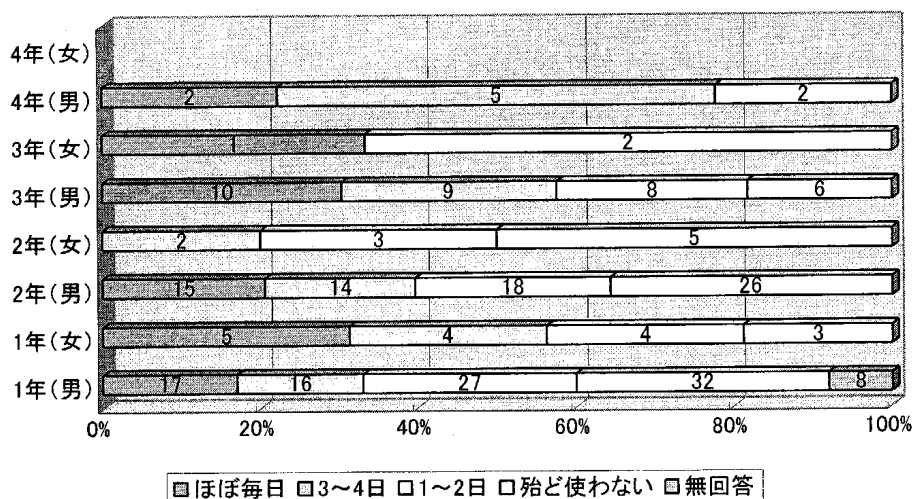
1時間前後の利用者が大半を占める。経済学部にはライトユーザーが多い。

Q8B 所有しているパソコンはどのくらい使いますか？

<1週間あたり>

ほぼ毎日 3～4日程度 1～2日程度 ほとんど使わない

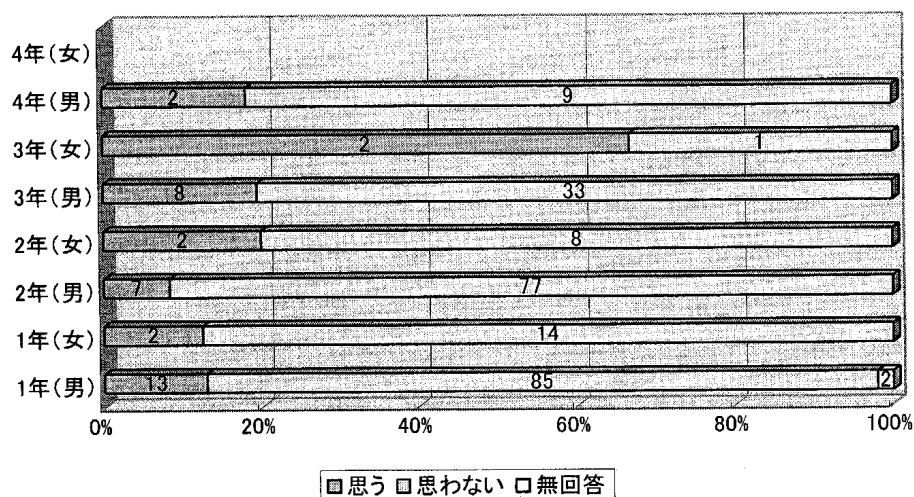
図8B Q8調査結果（1週間あたり）



Q9 大学でパソコンの販売があれば今のパソコンを買い換えたいと思いますか？

思う 思わない

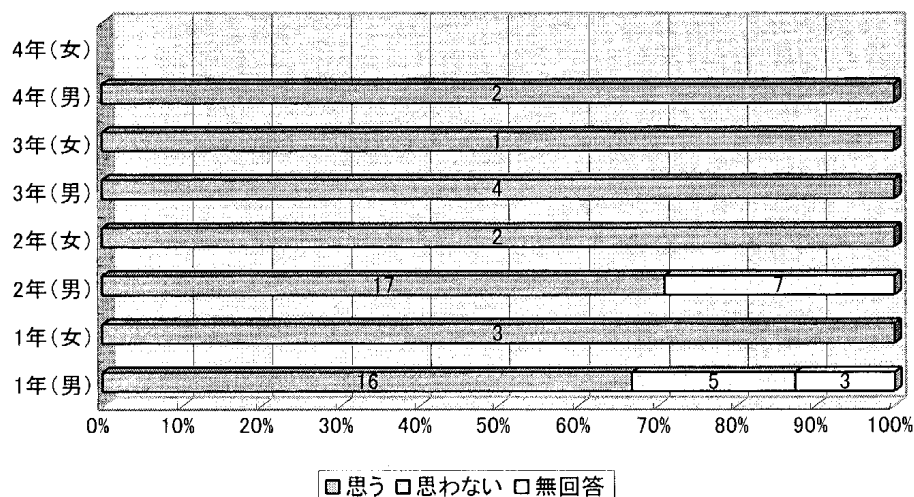
図9 Q9調査結果



Q10 パソコンを所有していない人に訊きます。自分専用のパソコンを購入したいと思いますか？

思う 思わない  
(「思わない」と答えた人はQ13へ)

図 10 Q10調査結果



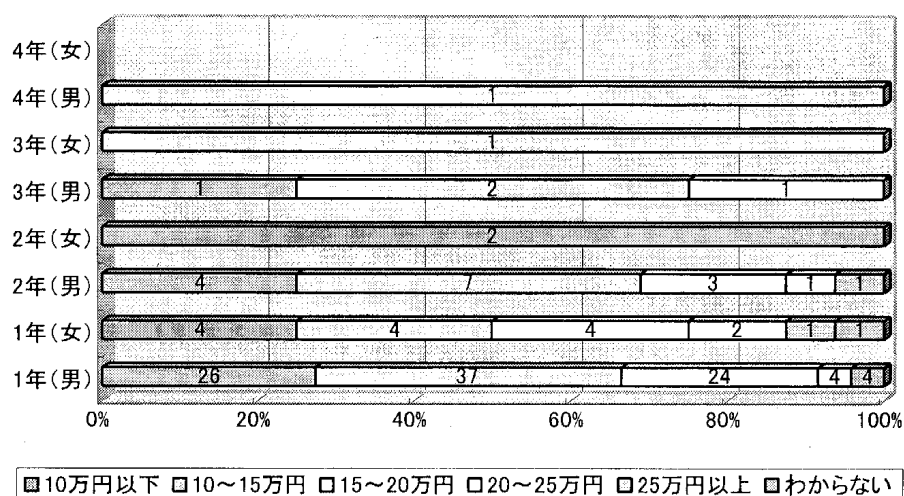
上記 2 つの項目から、自分のPCは所有したいが、大学での販売を利用したいとは思わないという学生が多く見受けられる。

Q11 パソコンを購入するとしてどのくらいまでなら出費が可能ですか？

(本体とソフトウェアをセットにして)

- a) 10万円以下      b) 10万円～15万円      c) 15万円～20万円  
d) 20万円～25万円      e) 25万円以上

図11 Q11調査結果



10万円台での購入希望者が多いことから、デスクトップ型でもかまわない、または廉価型のノートPCでもかまわない、ということであろうか。



Q12 大学でパソコンの販売があれば利用したいと思いますか？

- ・思う
- ・条件による（複数回答可）
  - a) 全学年を対象に販売を希望
  - b) 販売時期を限定しないほしい
  - c) 値段を安く d) 保険をつけて e) 相談窓口を開設して
  - f) その他の希望（ ）
- ・思わない

図12A Q12調査結果

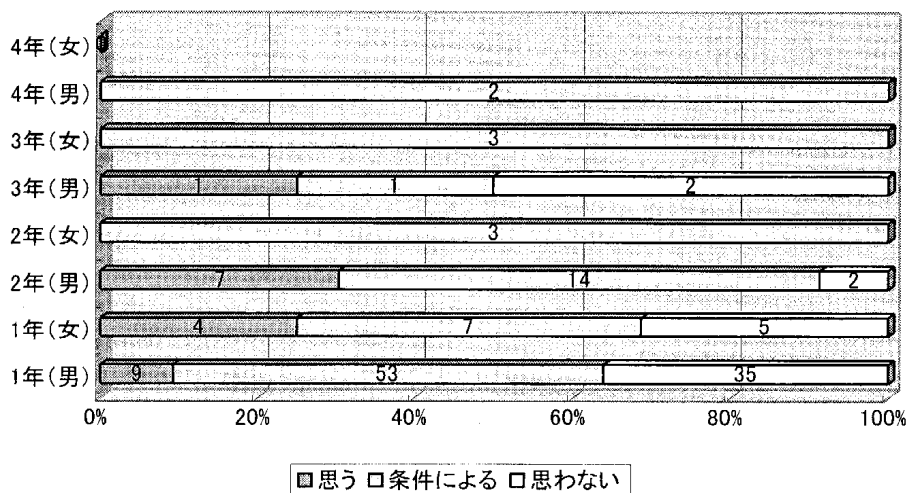
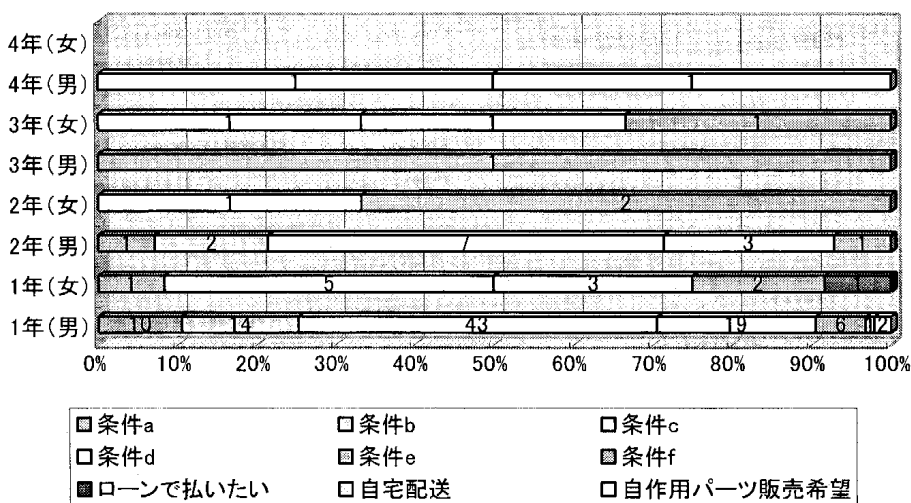


図12B Q12調査結果



大学での販売を利用したいと思わない学生が3割もいる反面、値段が安く保険や相談窓口などのサポート体制が整えば考えるという学生が半数以上である。

Q13 自宅でパソコンを使う必要性を感じていますか？また、どういう目的で必要性を感じますか？（パソコンを所有している・いないに関係なく教えてください）

・必要だと思う（複数回答可）

- a) 情報処理関連の授業のために必要（予復習や課題作成など）
- b) 情報処理関連以外の授業のために必要（予復習やレポート作成など）
- c) 就職活動のために必要
- d) 資格を取るために必要
- e) 情報収集のツールとして必要
- f) 使い方に慣れるために必要
- g) 趣味のために必要
- i) その他（

・必要とは思わない（その理由：

図13A Q13調査結果

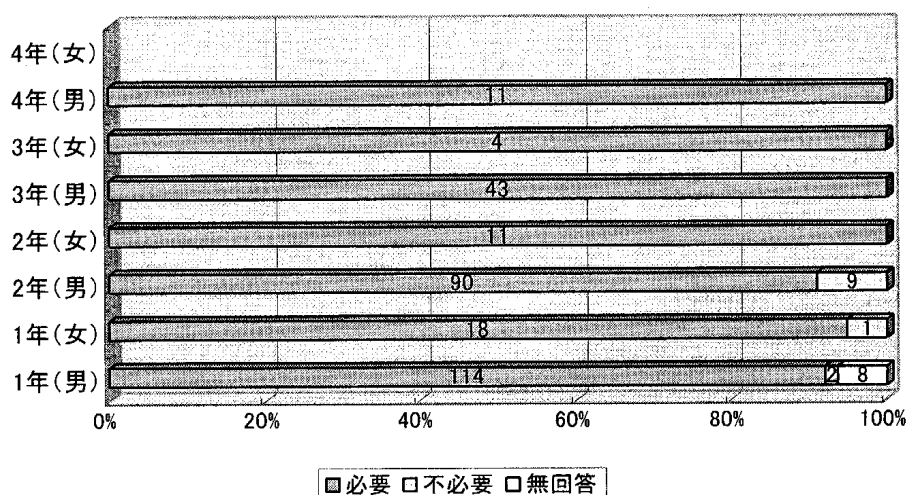
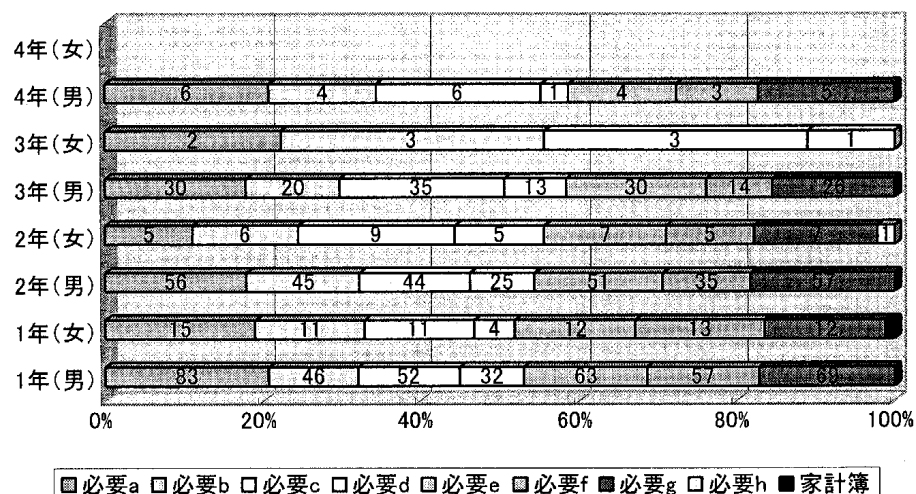


図13B Q13調査結果

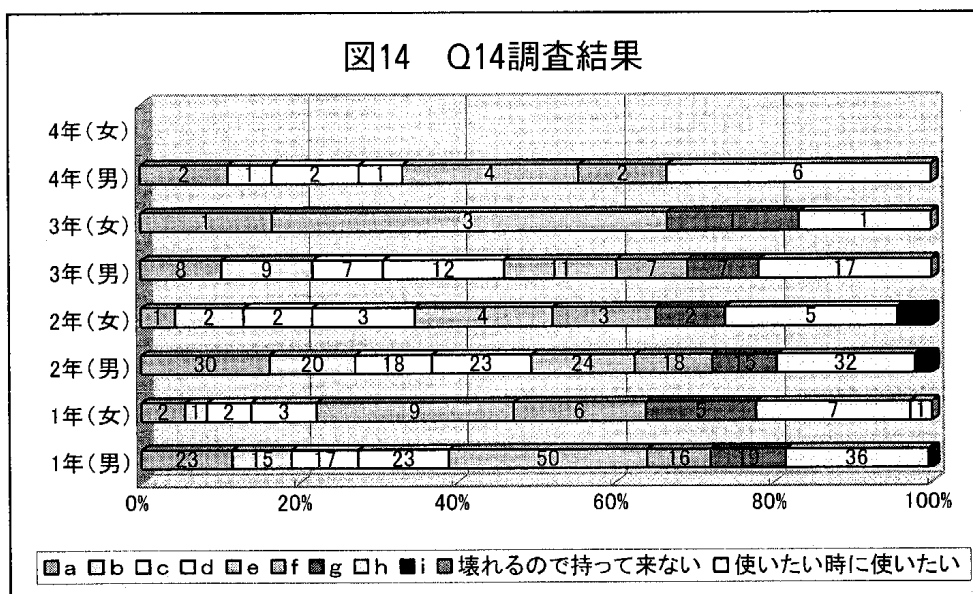


Q14 大学でパソコンをどのように利用できればいいと思いますか？

(複数回答可)

- a) 自分のパソコンを一般教室に持ち込んで板書用にする
- b) 自分のパソコンをゼミ教室に持ち込んで板書やプレゼンに利用する
- c) 自分のパソコンをゼミ教室に持ち込んでインターネットを利用する
- d) 自分のパソコンを学生ホールなどの共用スペースに持ち込んでインターネットを利用する
- e) 重いので自分のパソコンを持って来たいとは思わない
- f) 大学でパソコンを貸し出すようにして欲しい (大学内のみで構わない)
- g) 大学でパソコンを貸し出すようにして欲しい (大学外にも持ち出せるように)
- h) パソコン教室を増やしてほしい
- i) その他

図14 Q14調査結果



「重いので大学に持って来たいとは思わない」という意見が目立つ。A4やB5サイズのノートPCでは学生の意識を変えるにまでは至らない、ということか。PDAであれば話は違うかも知れない。

Q15 01205教室（情報講義室）の現ノートパソコンについてどう思うかお聞かせください。（複数回答可）

a) 動作が遅い

b) ソフトを追加して欲しい（ソフト名：

その理由：

c) その他（

図15A Q15調査結果

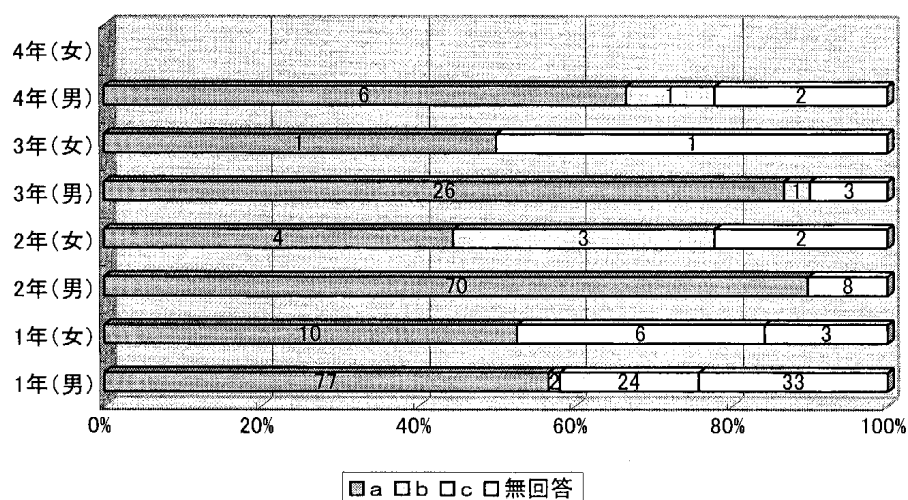
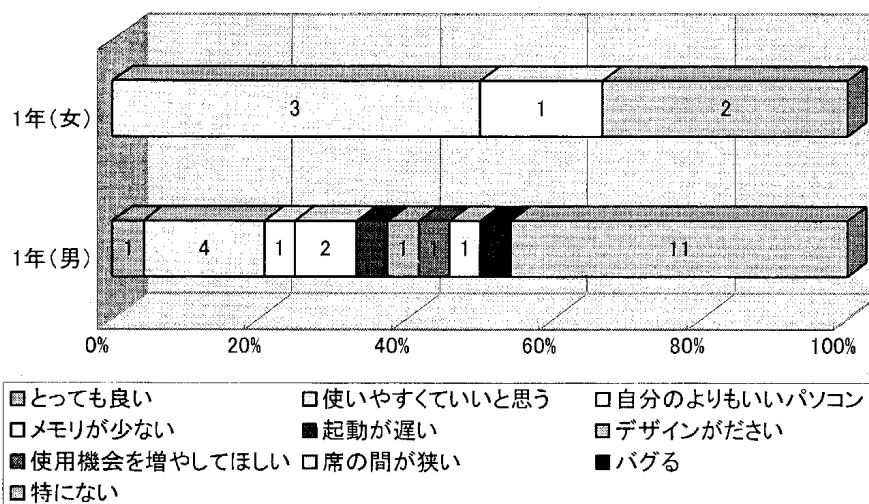


図15B Q15調査結果



「動作が遅い」という意見が大半だ。クライアントの環境をサーバー側で管理している理由から、起動時の遅さが目立つことによるものであると思われるが、クライアントのメモリを増設した程度では1～2割程度の速度改善しか期

待できそうにない。また、本来座学向けに設計された教室であるため、座席間の余裕がなく、3人掛けの席では真中の学生が不便さを感じることが多い。教室の設計時から考慮すべき点が目立つ。今後注意しなければならない。

(※「その他」の内訳について、2～4年次の回答なし)

**Q16 その他、大学でのパソコン利用に関する希望があれば記述してください。**

この質問に対しては、「満足している」という回答もあったものの、「教室を増やしてほしい」「(教室が授業で塞がっていても)いつでも使えるようにしてほしい」「PCの台数を増やしてほしい」「デスクトップ型PCの教室もつくってほしい」という、利用機会を増やしてほしい旨の要望が目立った。現在の台数では学生数に対して充分応えることができていないということであろう。

なお、集計結果の分析には $\chi^2$ 検定を用い、学年別、男女別とも有意水準5%で判定している(学年間の回答に差があると認められた項目は、Q3、Q4、Q5、Q13B、Q14であり、男女間の回答では、Q3、Q4、Q12B、Q13B、Q14の各項目に差があると認められた)。

## 5. おわりに

高等学校でも「情報」教科が必修となり、情報リテラシーを大学で教える必要性は低くなってきた。近年のIT需要増により、家庭でのPC普及率およびインターネット接続率も充分高い。

とは言うものの、専門性の高い授業内容をIT化して教授する必要性が大学に求められている以上、大学でのPC利用機会を増やすことは必須である。今回のアンケート調査で「自分のPCは所有したいが、大学へ持参したいとは思わない。大学での販売を利用したいとは思わない」という意見が目立ったことから、学生人数および利用希望回数に対応しうるだけの教室配備が求められるこ

とは言うまでもない。

少子化の影響で受験者数増を期待するのが難しい昨今、学部学科単位で教室配備をする時代ではないのかも知れない。学部間の垣根を取り払い、情報部門を集約した組織および設備づくりを検討すべき時期に突入していることを自覚すべきであろう。

なお、今回の報告については現時点での筆者の力量不足から統計的手法を活用できていない。正確性を期すためにも、質問項目の内容および集計結果の分析方法等についての改善を要する。

最後に、アンケート調査実施にご協力いただいた経済学部経済学科小林正和講師、国際経済学科足立浩一助教授、経済学科曾余田順子非常勤講師、ならびに集計作業にご尽力いただいた経済学科浅野敦子技術助手、および統計処理ソフト「College Analysis」をご提供・ご指導いただいた福山平成大学経営学部経営情報学科福井正康教授の各位に深甚なる謝意を表する。